

構造物の設計の基本(ISO/TC98) 国際規格シンポジウム開催のご案内

ISO（国際標準化機構）は、国際的に通用する規格や標準類を制定するための国際機関です。現在、ISOへの整合化による日本の技術基準(JIS)の改変がなされており、ISOで制定された規格が国内の基準をはじめ建設・土木業界に影響を及ぼし始めました。今後は日本でも標準化の裾野が広がっていく事と推測されます。

こうした動きを受け、日本においても構造物の設計の基本を扱うTC98への積極的な関与が継続されて参りました。近年では日本が国際規格策定にあたって主体的役割を果たす事例も出てきて、前回の第1回シンポジウムから5年近く経過した現在、TC98を取り巻く環境にも当時と比して相応の変化が見られるようになりました。ついては、この度、国内の関係者・専門家を対象にISOの審議状況を紹介するシンポジウムを改めて開催し、各方面からISOに対して忌憚ないご意見を伺いたいと思います。奮ってご参加の程、お願い致します。

主 催 建築・住宅国際機構
協 賛 (社)日本建築学会、
日 時 平成21年3月3日(火) 14:00~18:15 (受付開始13:30)
会 場 (社)日本建築学会 会議室
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20

シンポジウム講演内容

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1. 開会の辞 | 14:00~14:10
未定 |
| 2. 国際規格の制定・改訂の活動一般 | 14:10~14:30 (20分) |
| (1) 建築・土木構造分野におけるISO/TC98活動近況の紹介 | 西野加奈子
(建築・住宅国際機構) |
| 3. TC98の規格と活動概況 | 14:30~18:00 (190分) |
| (1) TC98国内分科会、TC98/SC3及び
ISO2394(構造物の信頼性に関する一般原則)について | 神田 順(東京大学) |
| (2) ISO 3010(構造物への地震作用)について | 石山祐二(北海道大学) |
| (途中休憩:20分) | |
| (3) TC98SC2WG6(既存構造物の評価)について | 三橋博三(東北大学) |
| (4) TC98SC2WG11(構造物のリスク評価における一般的原則)について | 高田毅士(東京大学) |
| (5) TC98SC3WG2(風荷重) | 近藤宏二(鹿島建設) |
| (6) TC98SC3WG10(地盤基礎構造物のための地震作用) | 森伸一郎(愛媛大学) |
| (7) 質疑応答 | |
| 5. 閉会挨拶 | 18:00~18:15
石山 祐二(北海道大学) |

定 員 60名(定員に達し次第締切ります)

資料代 1,000円

申込方法 氏名、勤務先、所属、住所、電話番号、E-mailアドレスを記入の上、「TC98シンポジウム申込」と題して、下記のE-mailアドレスまでお申し込みください。

申込先及び問合せ先 建築・住宅国際機構

E-mail: main@iibh.org

〒105-0001 東京都虎ノ門5-1-4 東都ビル3階

Tel: 03-3437-6481、Fax: 03-3437-6482